

就職は都会と地元、どっちにしよう



「都会に出るか」、「地元に残る（帰る）か」これは就職活動をするにあたり、誰しも一度は悩む問題ではないでしょうか。都会で就職するか地元で就職するかは、企業選びにも大きく関わります。

そこで、今回は、先輩たちはどういった理由で勤務地・居住地を選んでいるのか、都会で就職する場合と地元で就職する場合の特徴を紹介します。

また、4・5ページでは、東京と鹿児島での生活を「見える化」してみました。都会と地元での生活は実際どのくらい違うのかを具体的にイメージしてみてください。

それぞれの特徴をきちんと把握し、「どこで、どんな人生を送りたいのか」、「どんな仕事で自分を活かせるのか」について考え、あなたが後悔のない選択をすることを願っています。

まず、先輩たちはどのような理由で勤務地・居住地を選んでいるかを調べてみました。就職情報会社マイナビの「2021年卒大学生Uターン・地元就職に関する調査」によると、以下のようになっています。

2021年卒大学生Uターン・地元就職に関する調査

地元就職を希望する理由（上位5位抜粋）

- 1位（自分の意思から）両親や祖父母の近くで生活したいから
- 2位 実家から通って経済的に楽だから
- 3位 地元（Uターン先）での生活に慣れているから
- 4位 地元の風土が好きだから
- 5位 仕事とプライベートを両立させたいから

地元（Uターン含む）就職を希望しない理由（上位5位抜粋）

- 1位 都会のほうが便利だから
- 2位 志望する企業がないから
- 3位 実家に住みたくない（離れたい）から
- 4位 給料が安そうだから
- 5位 地域にとらわれず働きたいから

Features

都会で就職する場合と地元で就職する場合の特徴について紹介します。

都会で就職

- 企業数や職種が多い
- 給与水準が高い
- 生活コストが高い
- 様々な人たちと出会える
- 交通インフラが整っている
- 遊べる場所やイベントが多い

地元で就職

- 企業数が少ない
- 地元貢献ができる
- 生活コストが安い
- 家族や友人が身近にいる
- 慣れ親しんだ環境で暮らせる
- 子育てがしやすい

Attention

「働く」と「暮らす」という2つの視点から比較してみましょう。

【働く】

都会は企業数が多く、ベンチャー企業から大企業まで規模・職種ともに選択の幅が広いというメリットがあります。企業規模が大きくなれば、多様な事業を国内外問わず展開している場合もあるため、スケールの大きな仕事に携わるチャンスも多いです。地元と比べると給与水準も高い傾向にあります。

地元は企業数が少なく、選択肢が限られますが、慣れ親しんだ場所で仕事ができ、また仕事を通じて地元貢献ができるといったメリットもあります。

【暮らす】

都会は給与が高い一方で、家賃などの生活コストが高くなります。交通インフラが整っており、休日は遊べる場所やイベントが多く、プライベートも充実できます。全国各地から人が集まるため、人との出会いも増えます。

地元は都会と比べて給与が低いです。家賃などの生活コストは低くなります。人とのつながりを窮屈に感じる人もいるかもしれませんが、家族や友人が身近にあり、慣れ親しんだ場所で安心感のある生活が過ごせます。自然が豊かで子育てしやすい環境ともいえます。

Point

最後に冒頭の問題に対するヒントをまとめてみました。

Point ①

キャリアアップ・娯楽・出会いを求めるなら
→都会就職

「ベンチャー企業や大企業で働きたい」、「プライベートを充実させたい」、「いろいろな人と会って成長したい」という人におすすめ！



Point ②

家族・地元の友人・快適を求めるなら
→地元就職

「家族と暮らしながら働きたい」、「地元の友人と頻りに会いたい」、「人が多いところが苦手」という人におすすめ！

